

令和元年度取組結果及び令和2年度取組計画

・秋田市	1
・横手市	5
・湯沢市	9
・大仙市	13
・仙北市	17
・美郷町	19
・羽後町	21
・東成瀬村	23
・秋田県総務部	26
・秋田県建設部	28
・秋田地方気象台	36
・東北地方整備局	40

令和2年7月20日

雄物川大規模氾濫時の減災対策協議会

■ハード対策（避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備）

○庁舎や排水機場等の耐水性の確認・対策（耐水化・BCP等ソフト対策を含む）

- ⇒ ・ B C P改正等に関連した庁内講習会の実施（令和元年12月～令和2年2月）
- ・ 施設点検による維持管理（各部局）

■ソフト対策【動かす】^{①逃げ遅れゼロに向けた} 迅速な情報発信と避難の誘導

○平時からのリスク情報の周知と防災教育・訓練等に関する取組

- ・ タイムラインを活用したロールプレイング等のリアリティのある防災訓練の実施
 - ⇒ T V会議による雄物川洪水対応演習（令和元年5月10日）
- ・ 水害リスクを共有するための教育機関等と連携した防災教育の実施
 - ⇒ 雄物川流域の学校を対象にした防災教育の実施（豊岩小中、四ツ小屋小）
- ・ 要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練の促進
 - ⇒ 要配慮者利用施設の所有者等への避難確保計画の作成支援として社会福祉施設の事業者の研修会を開催（2回） 令和元年9月5・6日（秋田市役所正庁）

○発災時の迅速かつ確実な避難に関する取組

- ・ 住民の避難行動に着目した各市町のタイムラインの運用及びマイタイムラインの作成
 - ⇒ マイタイムラインの自主防災組織等への周知・啓発（防災講話66回、避難訓練5回実施）
- ・ 住民の主体的避難を促す情報伝達手段の拡充（防災メール、防災ラジオ、SNS等）
 - ⇒ 防災FMラジオを自主防災組織等へ貸与



雄物川洪水対応演習



防災ラジオ

■ソフト対策【ねばる】 ②氾濫被害の防止や軽減、避難時間の確保のための情報共有と水防活動の強化

○より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化に関する取組

- ・流域内の関係機関が防災情報を共有できる体制の整備
 - ⇒雄物川大規模氾濫時の減災対策協議会への参加（第7回4/22、第8回2/27開催）
- ・関係機関が連携した水防訓練・水防団同士の連絡体制の再確認の実施
 - ⇒秋田市水防訓練の実施（令和元年6月2日実施）
- ・重要水防箇所の合同巡視
 - ⇒関係機関等とのパトロールの実施（令和元年6月5日県合同巡視実施）
- ・水防資機材の保有状況の確認
 - ⇒適正に在庫管理

○排水活動及び訓練、施設運用に関する取組

- ・関係機関と連携したリアリティのある水防・排水訓練の実施
 - ⇒秋田市水防訓練の実施（令和元年6月2日実施）



積み土のう工法



月の輪工法

■ハード対策（避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備）

○簡易水位計等の基盤整備

⇒ 排水ポンプ車の整備（2台）

○庁舎や排水機場等の耐水性の確認・対策（耐水化・BCP等ソフト対策を含む）

⇒ 施設点検による維持管理（各部局）

■ソフト対策【動かす】

①逃げ遅れゼロに向けた
迅速な情報発信と避難の誘導

○平時からのリスク情報の周知と防災教育・訓練等に関する取組

・タイムラインを活用したロールプレイング等のリアリティのある防災訓練の実施

⇒ 雄物川洪水対応演習等への参加

・水害リスクを共有するための教育機関等と連携した防災教育の実施

⇒ 雄物川流域の学校を対象にした防災教育の実施（豊岩小中）

・要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練の促進

⇒ 要配慮者利用施設の所有者等への避難確保計画の作成支援

○発災時の迅速かつ確実な避難に関する取組

・住民の避難行動に着目した各市町のタイムラインの運用及びマイタイムラインの作成

⇒ マイタイムラインの自主防災組織等への周知・啓発（防災講話、避難訓練ほか）

・住民の主体的避難を促す情報伝達手段の拡充（防災メール、防災ラジオ、SNS等）

⇒ 防災ネットあきたへの登録推進、防災FMラジオの貸与先の拡充



ポンプ車イメージ



避難所開設訓練

■ソフト対策【ねばる】②氾濫被害の防止や軽減、 避難時間の確保のための情報共有と水防活動の強化

○より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化に関する取組

- ・流域内の関係機関が防災情報を共有できる体制の整備
⇒雄物川大規模氾濫時の減災対策協議会への参加
- ・重要水防箇所の合同巡視
⇒国や関係機関等とのパトロールの実施
- ・水防資機材の保有状況の確認
⇒必要資材の拡充



水防箇所の合同巡視

■ハード対策（避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備）

○簡易水位計等の基盤整備

⇒ なし

○庁舎や排水機場等の耐水性の確認・対策（耐水化・BCP等ソフト対策を含む）

⇒ なし

■ソフト対策【動かす】^{①逃げ遅れゼロに向けた迅速な情報発信と避難の誘導}

○平時からのリスク情報の周知と防災教育・訓練等に関する取組

・タイムラインを活用したロールプレイング等のリアリティのある防災訓練の実施

⇒ 風水害に係る防災訓練においてはタイムラインを活用

・水害リスクの高い区間における地域住民が参加する共同点検や避難訓練の実施

⇒ 8月25日（日）横手市総合防災訓練を実施（大雨による災害発生を想定）

◇18町内会、1福祉施設など、計38組織、約232名の地域住民が参加

・水害リスクを共有するための教育機関等と連携した防災教育の実施

⇒ 市内中学校での防災マップ作り授業。 ※1校が実施

◇学校が主体となり、特定非営利活動法人秋田県防災士会と連携

◇R3年度（2021年度）までに市内全ての中学校で実施完了予定。

・要配慮者利用施設の避難確保計画の作成及び訓練の促進

⇒ 避難確保計画作成に係る講習会の開催

◇11月15日（金）59施設84名参加

◇12月17日（火）38施設53名参加



8月25日（日）横手市総合防災訓練



11月15日(金)要配慮者利用施設避難確保計画作成講習会

■ソフト対策【動かす】

①逃げ遅れゼロに向けた
迅速な情報発信と避難の誘導

○発災時の迅速かつ確実な避難に関する取組

- ・想定最大規模降雨による浸水想定区域図、氾濫シミュレーション、家屋倒壊等氾濫想定区域の公表

⇒マイ・タイムライン講習会の開催

11月16日 市民向対象50人参加、12月10日 職員対象25人参加

- ・想定最大規模の洪水での避難計画を考慮したハザードマップの作成・周知

⇒防災マップ（ハザードマップ）普及実績

◇勉強会対応回数38回、参加者数2,032名

◇コミュニティFMを活用した周知 10分×36回



11月16日（土）マイ・タイムライン講習会

■ソフト対策【ねばる】

②氾濫被害の防止や軽減、
避難時間の確保のための情報共有と水防活動の強化

○より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化に関する取組

- ・関係機関が連携した水防訓練・水防団同士の連絡体制の再確認の実施

⇒6月1日（土）横手市水防訓練を実施

◇消防署員、消防団員が工法を実施（シート張り、木流し、改良積み土嚢、川倉）

- ・重要水防箇所の合同巡視

⇒6月6日（木）、7月24日（水）

- ・水防資機材の保有状況の確認

⇒重要水防箇所合同巡視の際に水防倉庫内の資材確認も実施



6月6日（木）重要水防箇所の合同巡視

■ハード対策（避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備）

○簡易水位計等の基盤整備

⇒ なし

○庁舎や排水機場等の耐水性の確認・対策（耐水化・BCP等ソフト対策を含む）

⇒ なし

■ソフト対策【動かす】 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速な情報発信と避難の誘導

○平時からのリスク情報の周知と防災教育・訓練等に関する取組

- ・タイムラインを活用したロールプレイング等のリアリティのある防災訓練の実施
- ・水害リスクの高い区間における地域住民が参加する共同点検や避難訓練の実施
- ・水害リスクを共有するための教育機関等と連携した防災教育の実施

⇒ 市内中学校での防災マップ作り授業。 ※1校が実施予定

◇教育委員会が主体となり、特定非営利活動法人秋田県防災士会と連携

◇H33年度（2021年度）までに市内全ての中学校で実施完了予定

- ・要配慮者利用施設の避難確保計画の作成及び訓練の促進

⇒ R2年度中の作成、訓練の実施を促す



防災訓練



避難訓練

■ソフト対策【動かす】

①逃げ遅れゼロに向けた
迅速な情報発信と避難の誘導

○発災時の迅速かつ確実な避難に関する取組

- ・想定最大規模降雨による浸水想定区域図、氾濫シミュレーション、家屋倒壊等氾濫想定区域の公表
⇒ 公表済み。市HP上からダウンロード可能であることを周知する
- ・想定最大規模の洪水での避難計画を考慮したハザードマップの作成・周知
⇒ 各種訓練、防災講話、地元コミュニティFM等を活用し、周知を図る。

■ソフト対策【ねばる】

②氾濫被害の防止や軽減、
避難時間の確保のための情報共有と水防活動の強化

○より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化に関する取組

- ・関係機関が連携した水防訓練・水防団同士の連絡体制の再確認の実施
⇒ 水防訓練は中止となったが、出水期を前に連絡体制や水防資器材の確認
- ・重要水防箇所の手回し巡視
⇒ 5月～7月
- ・水防資器材の保有状況の確認
⇒ 年度内/水防資材のほか、災害備蓄品についても併せて調査



防災講話



水防訓練

■ハード対策（避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備）

○庁舎や排水機場等の耐水性の確認・対策（耐水化・BCP等ソフト対策を含む）

⇒ 湯沢市業務継続計画（BCP）の運用

■ソフト対策【動かす】

①逃げ遅れゼロに向けた
迅速な情報発信と避難の誘導

○平時からのリスク情報の周知と防災教育・訓練等に関する取組

- ・自主防災組織の設置、指導及び育成に係る研修会の実施

⇒ 組織設置に向けた働きかけを継続して実施。

災害発生時の自主防災体制を確立するため、県主催による「自主防災組織育成指導者研修会」を湯沢市で実施。

- ・タイムラインを活用したロールプレイング等のリアリティのある防災訓練の実施

⇒ 大雨と大地震を組み合わせた図上訓練の実施。（11月19日実施）

⇒ 令和元年度「洪水対応演習」への参加（11月20日、大仙市で実施）

- ・タイムラインの検証及び改訂

⇒ 警戒レベルの導入に伴い、各避難情報と警戒レベルの関係の見直しを実施し、水害タイムラインを改訂

- ・水害リスクの高い区間における地域住民が参加する共同点検や避難訓練の実施

⇒ 自主防災組織をはじめとした地域住民が主体となった防災活動に対する積極的な支援

⇒ 市内小中学校及び保育施設等への出前講座を実施

- ・要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練の促進

⇒ 避難確保計画策定に向けた、作成マニュアル・作成例の発出等による支援

未策定施設に対し、作成依頼の通知（4月1日、5月24日）や作成マニュアル等を送付したほか、随時電話等で個別に作成を依頼した。



自主防災組織育成指導者研修会

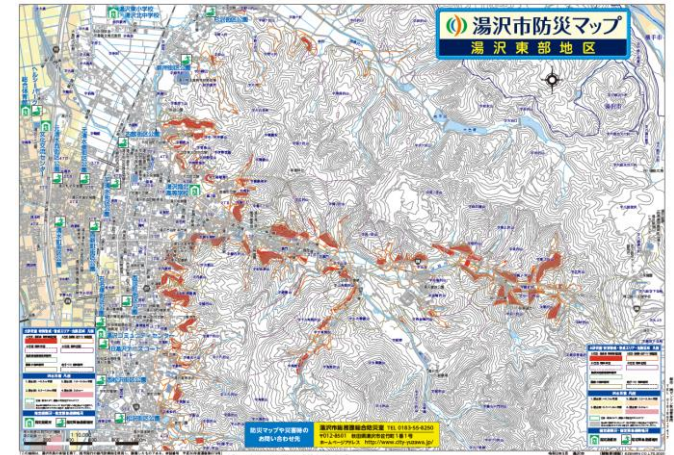


大規模災害対応図上訓練

■ソフト対策【動かす】 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速な情報発信と避難の誘導

○発災時の迅速かつ確実な避難に関する取組

- ・住民の避難行動に着目したタイムラインの運用及びマイタイムラインの作成
 ⇨「マイ・タイムライン講習会」への参加（12月10日、横手市で開催）
- ・住民の主体的避難を促す情報伝達手段の拡充（緊急・防災メール、SNS等）
 ⇨防災行政無線施設整備工事の実施（令和3年3月運用開始予定）
- ・想定最大規模の洪水での避難計画を考慮したハザードマップ等の作成・周知
 ⇨湯沢市地区版防災マップの作成・配布（令和2年3月作成・全戸配布）
 ⇨国が示す避難場所等の標準図記号等に基づいた指定避難所・指定緊急避難場所看板の設置（全79箇所設置）



湯沢市地区版防災マップ

■ソフト対策【ねばる】 ②氾濫被害の防止や軽減、避難時間の確保のための情報共有と水防活動の強化

○より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化に関する取組

- ・関係機関が連携した水防訓練・水防団同士の連絡体制の再確認の実施
 ⇨令和元年6月2日（日）湯沢雄勝地区水防訓練を実施（市内角間地内）
 （シート張り工法・各種積み土のう工法）
- ・重要水防箇所の合同巡視
 ⇨6月4日 重要水防箇所合同巡視
 6月6日 雄勝地域県管理河川重要水防箇所合同巡視



湯沢雄勝地区水防訓練

■ハード対策（避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備）

○庁舎や排水機場等の耐水性の確認・対策（耐水化・BCP等ソフト対策を含む）

⇒湯沢市業務継続計画（BCP）の運用

■ソフト対策【動かす】^{①逃げ遅れゼロに向けた迅速な情報発信と避難の誘導}

○平時からのリスク情報の周知と防災教育・訓練等に関する取組

- ・自主防災組織の設置、指導及び育成に係る研修会の実施
⇒継続して推進
⇒湯沢市防災士の会（仮称）の設立及び研修会の開催等による地域防災リーダーの育成
- ・タイムラインを活用したロールプレイング等のリアリティのある防災訓練の実施
⇒タイムラインを活用した図上訓練の実施（11月頃予定）
- ・水害リスクの高い区間における地域住民が参加する共同点検や避難訓練の実施
⇒自主防災組織等地域住民が主体となった防災訓練に対する積極的な支援の実施（継続実施）
- ・水害リスクを共有するための教育機関等と連携した防災教育の実施
⇒出前講座による防災講話を継続して実施
- ・要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練の促進
⇒未作成施設に対する個別訪問による計画作成支援
⇒避難訓練の実施状況の確認



防災講話



要配慮者施設避難訓練

■ソフト対策【動かす】

①逃げ遅れゼロに向けた
迅速な情報発信と避難の誘導

○発災時の迅速かつ確実な避難に関する取組

- ・住民の避難行動に着目したタイムラインの運用及びマイタイムラインの作成
 ⇨市民への周知徹底と必要に応じた見直し（継続実施）
 ⇨出前講座等の場を活用したマイ・タイムライン講習会による作成支援
- ・住民の主体的避難を促す情報伝達手段の拡充（緊急・防災メール、SNS等）
 ⇨防災行政無線施設整備工事の実施（継続実施。令和3年3月運用開始）
 ⇨緊急・防災メールの登録促進、SNSによる情報発信「FaceBook（継続）Twitter（新規）・LINE（新規）」
- ・想定最大規模の洪水での避難計画を考慮したハザードマップの作成・周知
 ⇨湯沢市地区版防災マップの周知徹底・防災講座等を通じた活用支援



防災行政無線施設整備（イメージ）

■ソフト対策【ねばる】

②氾濫被害の防止や軽減、
避難時間の確保のための情報共有と水防活動の強化

○より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化に関する取組

- ・流域内の関係機関が防災情報を共有できる体制の整備
 ⇨継続して連携
- ・関係機関が連携した水防訓練・水防団同士の連絡体制の再確認の実施
 ⇨湯沢雄勝地区水防訓練（自宅等における各個訓練の実施）
 □オープンワーク・水防工法DVDを活用した自学研鑽
- ・重要水防箇所の点検
 ⇨5月又は6月に雄勝地域県管理河川重要水防箇所合同巡視実施予定。（国管理河川は実施未定）
- ・水防資機材の保有状況の確認
 ⇨継続実施



重要水防箇所合同巡視

■ハード対策（避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備）

○水防活動、排水活動に資する基盤等の整備

- ⇒内水対策用の**常設排水ポンプ2基**および**排水機場の改修工事**を実施
- ⇒**可搬式排水ポンプ8インチ2基**の購入

■ソフト対策【動かす】^①逃げ遅れゼロに向けた迅速な情報発信と避難の誘導

○平時からのリスク情報の周知と防災教育・訓練等に関する取組

- ・タイムラインを活用したロールプレイング等のリアリティある防災訓練の実施
 - ⇒国交省と連携した「洪水対応演習（5月10日）」
 - 「**雄物川危機管理演習（11月20日）**」の実施
- ・水害リスクを共有するための教育機関等と連携した防災教育の実施
 - ⇒**中学校等における避難所開設訓練**の実施支援
- ・水害リスクの高い区間における地域住民が参加する共同点検や避難訓練の実施
 - ⇒西仙北中学校を主会場に**水害を想定した総合防災訓練**の実施（8月23日）
- ・要配慮者利用施設の避難確保計画の作成及び訓練の促進
 - ⇒令和元年度より新たに3施設が追加（**128/130施設で計画策定済**）
 - ⇒継続して計画策定と訓練実施の呼び掛け（**63/130施設で訓練実施済**）

○発災時の迅速かつ確実な避難に関する取組

- ・ハザードマップの作成・周知
 - ⇒自主防災組織毎の「**地区防災マップ**」作成促進（R1年度作成30組織）
- ・住民の避難行動に着目した各市町のタイムラインの運用及びマイタイムラインの作成
 - ⇒自主防災組織毎の「**マイ・タイムライン**」作成促進（R1年度作成20組織）



「大仙市総合防災訓練（R1.8.23）」（西仙北地域）



中学校での避難所開設訓練

■ハード対策（避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備）

○水防活動、排水活動に資する基盤等の整備

- ⇒可搬式排水ポンプ8インチ4基の購入（協和地域・南外地域）
- ⇒トランシーバー166台の購入（水防団）

■ソフト対策【動かす】 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速な情報発信と避難の誘導

○平時からのリスク情報の周知と防災教育・訓練等に関する取組

- ・タイムラインを活用したロールプレイング等のリアリティある防災訓練の実施
⇒国交省と連携した「洪水対応演習（5月）」の実施（継続）
- ・水害リスクを共有するための教育機関等と連携した防災教育の実施
⇒中学校等における避難所開設訓練などの実施（継続）
⇒市の避難所開設担当者と学校の防災担当教員を対象に、避難所開設や運営について開設マニュアルや避難所運営ゲーム等を用いた合同研修会を実施予定（継続）
- ・要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練の促進
⇒新規開設施設への避難確保計画作成と避難訓練の実施を促進（継続）

○発災時の迅速かつ確実な避難に関する取組

- ・想定最大規模の洪水での避難計画を考慮したハザードマップの作成・周知
⇒令和3年度の更新に向けた新たなハザードマップの作成（新規）
⇒自主防災組織毎の「地区防災マップ」作成促進（継続）
⇒雄物川の堤防破堤を想定した広域避難・遠方避難体制の構築（新規）
- ・住民の避難行動に着目した各市町のタイムラインの運用及びマイタイムラインの作成
⇒自主防災組織毎の「マイ・タイムライン」の作成促進（継続）



「避難所開設職員研修」の様子



「地区防災マップ」作成相談の様子

■ソフト対策【動かす】 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速な情報発信と避難の誘導

○発災時の迅速かつ確実な避難に関する取組

- ・住民の主体的避難を促す情報伝達手段の拡充（防災メール、防災ラジオ、SNS等）
 - ⇒「**防災ラジオ**」の無償貸与、販売（継続）
 - ⇒「**登録制携帯メール**」、「**Yahoo! 防災速報**」の登録促進（継続）
 - ⇒**SNSによる情報発信「LINE」「FB」「Twitter**」（継続）
 - ⇒**秋田県災害情報発信システムの活用（新規）**
 - ⇒**GISシステム**を活用した避難情報の迅速な発信体制の構築（継続）



市の内水排水研修会の実施

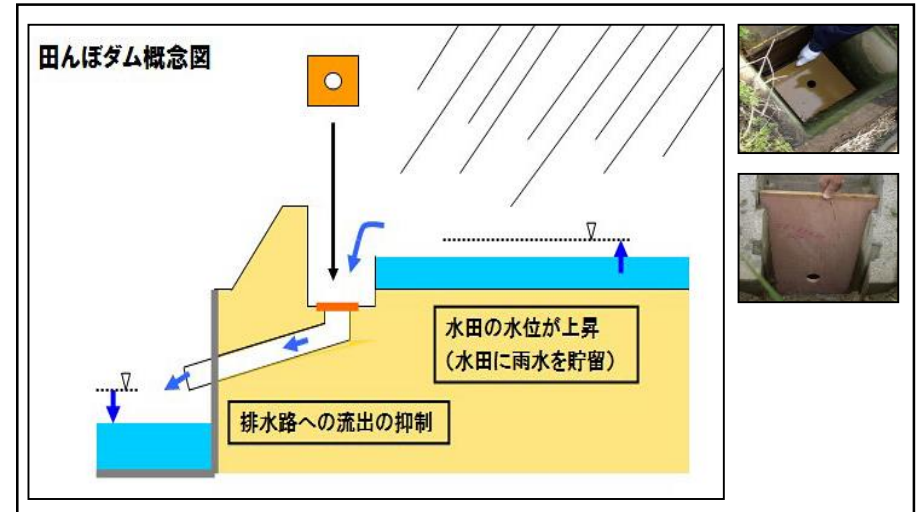
■ソフト対策【ねばる】 ②氾濫被害の防止や軽減、避難時間の確保のための情報共有と水防活動の強化

○より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化に関する取組

- ・関係機関が連携した連絡体制の再確認
 - ⇒水防団のトランシーバーを活用した**情報伝達、操作訓練**の実施
- ・重要水防箇所の合同巡視
 - ⇒国、県との**合同巡視**を実施（継続）

○排水活動及び訓練、施設運用に関する取組

- ・排水施設等の情報共有、浸水区域内の排水の検討等
 - ⇒市職員、内水排水依頼業者、水門管理人での**内水排水研修会**の実施
 - ⇒**田んぼダム推進**に向けての住民説明会を実施予定
- ・関係機関と連携したリアリティのある水防・排水訓練の実施
 - ⇒県と合同での**福部内川水門操作、排水ポンプ車操作訓練**の実施



「田んぼダム」の推進

■ハード対策（避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備）

○庁舎や排水機場等の耐水性の確認・対策（耐水化・BCP等ソフト対策を含む）

⇒ 角館庁舎の整備、自家発電設置（R2完成予定）

■ソフト対策【動かす】 ①逃げ遅れゼロに向けた 迅速な情報発信と避難の誘導

○平時からのリスク情報の周知と防災教育・訓練等に関する取組

・水害リスクの高い区間における地域住民が参加する共同点検や避難訓練の実施

⇒ 自主防災組織と連携した訓練や啓発活動を実施した。

・水害リスクを共有するための教育機関等と連携した防災教育の実施

⇒ 市内中学校での防災教育の実施。過去に発生した土石流災害の現場で
 災害の前兆現象の確認から避難行動について総合的な防災教育を実施。

・要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練の促進

⇒ 避難計画提出時に内容を確認し、適切な助言をした。

・地域包括支援センター等との連携

⇒ 災害時における介護事業所と市役所の情報共有の在り方について、
 外部講師を招いて講習会を開催。

■ソフト対策【ねばる】 ②氾濫被害の防止や軽減、 避難時間の確保のための情報共有と水防活動の強化

○より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化に関する取組

・関係機関が連携した水防訓練・水防団同士の連絡体制の再確認の実施

⇒ 6月に水防講習会を実施した（300名参加）。

・水防資機材の保有状況の確認

⇒ 6月の水防講習会時に資機材の保有状況を確認。

■ハード対策（避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備）

○庁舎や排水機場等の耐水性の確認・対策（耐水化・BCP等ソフト対策を含む）

⇒R2年度、角館庁舎が完成予定（自家発電設置）。田沢湖庁舎の耐震補強工事。

■ソフト対策【動かす】①逃げ遅れゼロに向けた 迅速な情報発信と避難の誘導

○平時からのリスク情報の周知と防災教育・訓練等に関する取組

・水害リスクの高い区間における地域住民が参加する共同点検や避難訓練の実施

⇒各自主防災組織と連携して訓練を実施する。

・水害リスクを共有するための教育機関等と連携した防災教育の実施

⇒各学校と連携し、防災教育を実施していく。

・要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練の促進

⇒各施設と連携し、計画書策定や改定時は適宜指導助言をする。

○発災時の迅速かつ確実な避難に関する取組

・想定最大規模の洪水での避難計画を考慮したハザードマップの作成・周知及びまるとまちごとハザードマップの推進

⇒ R2年度、ハザードマップを作成予定。全戸配布する。

■ソフト対策【ねばる】②氾濫被害の防止や軽減、 避難時間の確保のための情報共有と水防活動の強化

○より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化に関する取組

・関係機関が連携した水防訓練・水防団同士の連絡体制の再確認の実施

⇒例年通り、水防訓練を実施する。

・水防資機材の保有状況の確認

⇒訓練時、資機材を確認する。

■ハード対策（避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備）

○庁舎や排水機場等の耐水性の確認・対策（耐水化・BCP等ソフト対策を含む）

⇒美郷町業務継続計画（BCP）を運用中

■ソフト対策【動かす】 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速な情報発信と避難の誘導

○平時からのリスク情報の周知と防災教育・訓練等に関する取組

・水害リスクの高い区間における地域住民が参加する共同点検や避難訓練の実施

⇒県振興局と危険個所の合同点検を実施

・要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練の促進

⇒当該施設（町内1施設）について計画作成済み

○発災時の迅速かつ確実な避難に関する取組

・住民の主体的避難を促す情報伝達手段の拡充（防災メール、防災ラジオ、SNS等）

⇒防災無線、防災ラジオ及び防災メールの運用

■ソフト対策【ねばる】 ②氾濫被害の防止や軽減、避難時間の確保のための情報共有と水防活動の強化

○より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化に関する取組

・関係機関が連携した水防訓練・水防団同士の連絡体制の再確認の実施

⇒出水期前に各種水防工法の訓練を実施

・水防資機材の保有状況の確認

⇒出水期前に水防倉庫及び各消防ポンプ庫の水防資機材保有数を確認



■ハード対策（避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備）

○庁舎や排水機場等の耐水性の確認・対策（耐水化・BCP等ソフト対策を含む）

⇒美郷町業務継続計画（BCP）を運用継続

■ソフト対策【動かす】^①逃げ遅れゼロに向けた迅速な情報発信と避難の誘導

○平時からのリスク情報の周知と防災教育・訓練等に関する取組

・水害リスクの高い区間における地域住民が参加する共同点検や避難訓練の実施

⇒県振興局と危険個所の合同点検を実施予定

○発災時の迅速かつ確実な避難に関する取組

・住民の主体的避難を促す情報伝達手段の拡充（防災メール、防災ラジオ、SNS等）

⇒防災無線、防災ラジオ及び防災メールの運用継続

■ソフト対策【ねばる】^②氾濫被害の防止や軽減、避難時間の確保のための情報共有と水防活動の強化

○より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化に関する取組

・関係機関が連携した水防訓練・水防団同士の連絡体制の再確認の実施

⇒出水期前に各種水防工法の訓練を実施予定

・水防資機材の保有状況の確認

⇒出水期前に水防倉庫及び各消防ポンプ庫の水防資機材保有数を確認

■ソフト対策【動かす】

①逃げ遅れゼロに向けた
迅速な情報発信と避難の誘導

○発災時の迅速かつ確実な避難に関する取組

- ・ 想定最大規模の洪水での避難計画を考慮したハザードマップの更新
⇒ 令和2年3月 **羽後町ハザードマップの更新**（町内全戸へ配布）
- ・ 住民の主体的避難を促す情報伝達手段の拡充
⇒ 令和2年3月 **Yahoo!防災アプリによる緊急情報の配信**を開始
- ・ 住民の避難行動に着目したタイムラインの運用
⇒ 継続運用

■ソフト対策【ねばる】

②氾濫被害の防止や軽減、
避難時間の確保のための情報共有と水防活動の強化

○より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化に関する取組

- ・ 関係機関が連携した水防訓練・水防団同士の連絡体制の再確認の実施
⇒ R1.6.2 湯沢市及び東成瀬村との**合同水防訓練**を実施
- ・ 重要水防箇所の合同巡視
⇒ R1.6.4 **直轄河川の重要水防箇所の合同点検**に参加

令和元年6月2日
湯沢雄勝地区水防訓練



令和元年6月4日
直轄河川の重要水防箇所の合同点検



参加機関

湯沢河川国道事務所・雄勝地域振興局
 湯沢雄勝広域市町村組合消防本部
 湯沢市総務課・湯沢市防災監・湯沢市消防団
 羽後町副町長・羽後町生活環境課・羽後町消防団

■ソフト対策【動かす】

①逃げ遅れゼロに向けた
迅速な情報発信と避難の誘導

○平時からのリスク情報の周知と防災教育・訓練等に関する取組

- ・洪水、浸水等の大規模自然災害に対する地域強靱化に向けた指針づくり
 - ⇒ 令和2年8月 **羽後町国土強靱化計画**を策定予定
- ・水害リスクの高い区間における地域住民が参加する共同点検や避難訓練の実施
 - ⇒ **住民参加による直轄河川重要水防箇所**の共同点検の実施を予定

○発災時の迅速かつ確実な避難に関する取組

- ・住民の主体的避難を促す情報伝達手段の拡充（防災メール、防災ラジオ、SNS等）
 - ⇒ **防災行政無線の更新並びにIP通信網（携帯通信等）**を利用した情報配信システムの導入を検討予定
- ・住民の避難行動に着目したタイムラインの運用
 - ⇒ 継続運用

■ソフト対策【ねばる】

②氾濫被害の防止や軽減、
避難時間の確保のための情報共有と水防活動の強化

○より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化に関する取組

- ・緊急時を想定した水防訓練の実施
 - ⇒ 水防工法技術の習得を目指した訓練を実施予定
- ・重要水防箇所の合同巡視
 - ⇒ 直轄河川の重要水防箇所の合同点検に参加予定
- ・流域内の関係機関が防災情報を共有できる体制の整備
- ・水防資機材の保有状況の確認
 - ⇒ 継続実施

■ハード対策 （避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備）

○庁舎や排水機場等の耐水性の確認・対策（耐水化・BCP等ソフト対策を含む）

⇒ 東成瀬村業務継続計画の運用

■ソフト対策【動かす】 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速な情報発信と避難の誘導

○平時からのリスク情報の周知と防災教育・訓練等に関する取組

・水害リスクを共有するための教育機関等と連携した防災教育の実施

⇒ 7月22日（月）東成瀬小学校において、女性消防団による防災教室の実施

・要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練の促進

⇒ 災害想定区域に要配慮者施設を含んだ土砂災害避難訓練を実施。

○発災時の迅速かつ確実な避難に関する取組

・住民の主体的避難を促す情報伝達手段の拡充（防災メール、防災ラジオ、SNS等）

⇒ 防災行政無線の維持管理



7/22 女性消防団防災教室

■ソフト対策【ねばる】

○より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化に関する取組

- ・ 関係機関が連携した水防訓練・水防団同士の連絡体制の再確認の実施
⇒ 令和元年6月2日（日）に、湯沢市及び羽後町との合同水防訓練に村消防団が参加。
- ・ 重要水防箇所の合同巡視
⇒ 令和元年6月5日（水）に、県雄勝地域振興局建設部、湯沢雄勝広域消防署と合同で実施。



6/2 合同水防訓練

■ソフト対策【ねばる】

○より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化に関する取組

- ・重要水防箇所の合同巡視（実施済み）

⇒令和2年6月17日（水）に、県雄勝地域振興局建設部と湯沢雄勝広域消防署と共に、村内における重要水防箇所の合同巡視を実施した。（大沢川、岩井川地区の成瀬川左右岸、椿川地区の成瀬川左岸）

- ・水防資機材の保有状況の確認（予定）

⇒各地域の消防団と連携し、令和2年度9月中を目処に現有資機材の確認を実施し、不足資機材の調達等を順次行っていく。



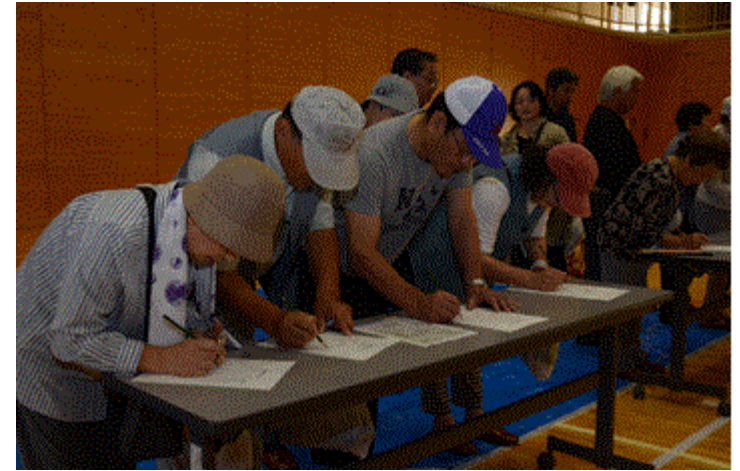
重要水防箇所（大沢川・成瀬川）

■ソフト対策【動かす】

①逃げ遅れゼロに向けた
迅速な情報発信と避難の誘導

○平時からのリスク情報の周知と防災教育・訓練等に関する取組

- ・水害リスクの高い区間における地域住民が参加する共同点検や避難訓練の実施
 - ⇒ R元.9.1 県総合防災訓練を実施（男鹿市、大湯村）
大雨災害等を想定した避難、避難所開設等
- ・水害リスクを共有するための教育機関等と連携した防災教育の実施
 - ⇒ 自主防災アドバイザーを自主防災組織等へ派遣
 - ⇒ 気象防災ワークショップの実施（市町村職員対象）



県総合防災訓練における洪水を想定した避難所の設置・運営

■ソフト対策【ねばる】

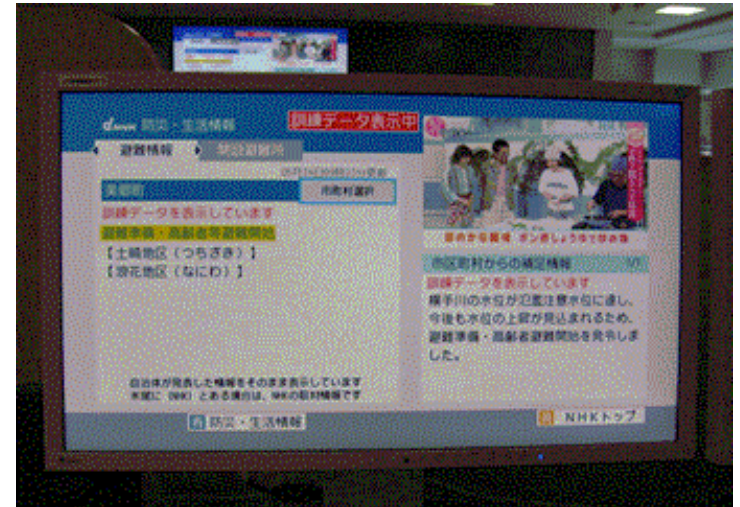
②氾濫被害の防止や軽減、
避難時間の確保のための情報共有と水防活動の強化

○より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化に関する取組

- ・流域内の関係機関が防災情報を共有できる体制の整備
 - ⇒ R元.5.22 「Lアラート」の配信訓練の実施
 - ⇒ R2.1～ 秋田県災害情報発信システムの試行実施



Yahoo! Japanに掲載された訓練用の避難情報



Lアラート配信訓練におけるNHKデータ放送による情報伝達

R02年度取組予定（秋田県総合防災課）

■ソフト対策【動かす】

①逃げ遅れゼロに向けた
迅速な情報発信と避難の誘導

○平時からのリスク情報の周知と防災教育・訓練等に関する取組

- ・水害リスクの高い区間における地域住民が参加する共同点検や避難訓練の実施

⇒ R2.8.30（予定） 県総合防災訓練を実施（由利本荘市）

大雨災害等を想定した避難、避難所開設等

- ・水害リスクを共有するための教育機関等と連携した防災教育の実施

⇒ 自主防災アドバイザーの派遣、出前講座、気象防災ワークショップ等を継続実施



県総合防災訓練における避難所の運営

■ソフト対策【ねばる】

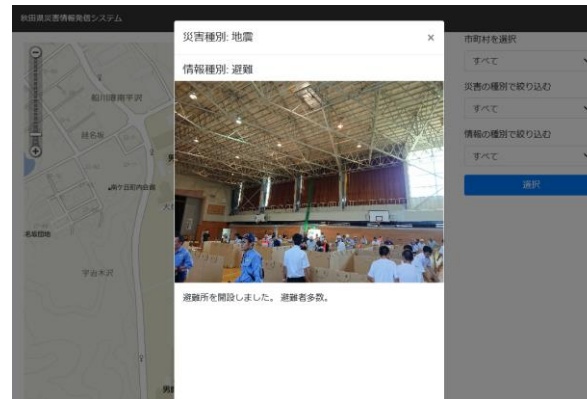
②氾濫被害の防止や軽減、
避難時間の確保のための情報共有と水防活動の強化

○より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化に関する取組

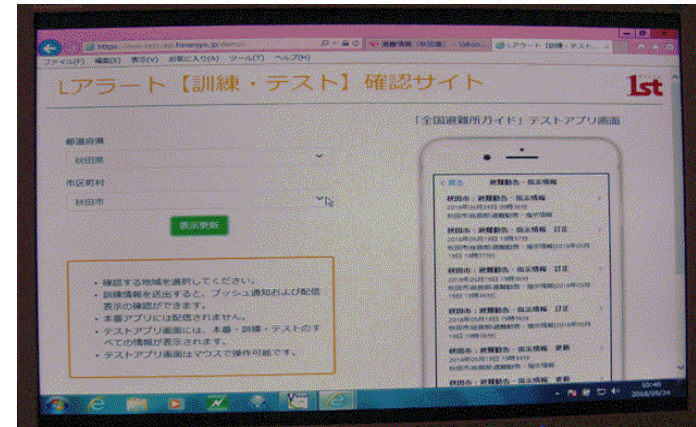
- ・流域内の関係機関が防災情報を共有できる体制の整備

⇒ R2.5.27（予定）「Lアラート」の配信訓練の実施

⇒ R2.4.1～ 秋田県災害情報発信システムの運用開始（総合防災訓練での発信訓練を実施予定）

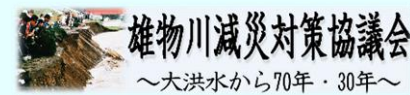


総合防災訓練における情報発信訓練



防災情報アプリ「全国避難所ガイド」による情報伝達

R元年度の取組結果 (秋田県)



■ハード対策 (避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備)

○簡易水位計等の基盤整備

⇒ 危機管理型水位計の設置

- ・ きめ細やかな水位把握が必要な河川へ設置し、洪水時における市町村の避難勧告等の発令や地域住民の適時的確な避難に役立つ水位情報提供の充実を図る。
- ・ データ画像は、秋田県河川砂防情報システムにて公表。

<http://sabo.pref.akita.jp/kasensabo/index.html>



太平洋 秋田市広面 (広面1号橋)

県管理河川 水系別 水位計設置数

単位:基

水系	水位計設置河川	既往水位計	危機管理型水位計			合計
			平成31年4月迄設置	令和元年度補正設置	計	
雄物川	70	54	73	7	80	134
米代川	53	33	65	0	65	98
子吉川	9	9	8	1	9	18
馬場目川	15	7	17	1	18	25
その他	12	4	9	1	10	14
白雪川	1	1	2	0	2	3
衣川	2	1	2	0	2	3
奈管川	2	0	1	1	2	2
	164	109	177	11	188	297

秋田県河川砂防情報システム

- 雨量観測情報
- 状況図
- 現況表
- 一括表選択
- 一覧表選択
- 水位観測情報
- 状況図
- 現況表
- 一括表選択
- 一覧表選択

地域別記
知りたい情報を選択地域に絞り込まれ
雨量情報 水

秋田県 河川砂防情報システム

TOP データ種別 | 雨量 | 水 | 危機管理型水位計 | 河川カメラ | ダム |

表示形式 | 状況図 | 現況表 | 一括表 | 一覧表

★メニュー
・ 全域観測情報(状況図)
・ 全域観測情報(現況表)
★リンク
・ 洪水予報発表情報
・ 水防警報 水位到達情報
・ 県内の他ダム
・ 玉川ダム
その他
・ 財団法人日本ダム協会

危機管理型水位状況図(全県) 2020年05月11日14時25分 現在
アイコンをクリックするとグラフを表示します。

凡例(危機管理型水位計局)

- △ 氾濫開始水位超過
- ▲ 危険水位超過
- △ 観測開始水位超過
- △ 観測開始水位未済
- △ 欠測/無効

凡例(水位局)

- 氾濫発生
- 氾濫危険水位超過
- 避難判断水位超過
- 氾濫注意水位超過
- 水防団待機水位超過
- 通常
- 欠測/無効

↑ 上昇中
→ 変化なし
↓ 下降中

危機管理型水位グラフ - Internet Explorer

危機管理型水位グラフ

観測局情報

雨量局	観測所名	秋田地質振興局	市町村名	秋田市
水位局	観測所名	秋田市	河川名	秋田川
	市町村名	秋田市	管轄	秋田地質振興局

凡例

- 時間雨量 [mm]
- 累加雨量 [mm]
- 時間雨量注意値 (30mm)
- 時間雨量警戒値 (60mm)
- 累加雨量注意値 (60mm)
- 累加雨量警戒値 (90mm)
- 水位 [m]
- 氾濫開始水位 (0.00m)
- 危険水位 (-1.20m)
- 観測開始水位 (-1.80m)

観測データ (05/10 16:00-05/11 14:35)

月/日	05/10							05/11																
時:分	16:00	17:00	18:00	18:00	20:00	21:00	22:00	23:00	24:00	01:00	02:00	03:00	04:00	05:00	06:00	07:00	08:00	09:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	14:35
時刻	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
累加	7.0	7.0	7.0	7.0	7.0	7.0	7.0	7.0	7.0	7.0	7.0	7.0	7.0	7.0	7.0	7.0	7.0	7.0	7.0	7.0	7.0	7.0	7.0	7.0
水位	-1.85	-1.85	-1.84	-1.84	-1.84	-1.86	-1.86	-1.86	-1.86	-1.86	-1.86	-1.86	-1.87	-1.87	-1.87	-1.87	-1.87	-1.87	-1.87	-1.87	-1.87	-1.87	-1.87	-1.87
時:分	04:00	05:00	06:00	07:00	08:00	09:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	14:35												
時間	0.0	0.0	0.0	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0												
累加	0.0	0.0	0.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0												
水位	-1.87	-1.87	-1.88	-1.88	-1.88	-1.89	-1.89	-1.89	-1.89	-1.40	-1.40	-1.40												

現在、観測しています

※河川の水位が観測開始水位を超えてから、5分毎水位を観測して表示します。
※表示されている横断図はイメージです。

■ハード対策 (避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備)

○簡易型カメラ等の基盤整備

⇒ 簡易型河川監視カメラの設置

・リアリティーのある河川の状況を画像で伝えることで、住民の適時的確な避難判断、避難行動を促す。

・カメラの画像は、秋田県河川砂防情報システムにて公表。

<http://sabo.pref.akita.jp/kasensabo/index.html>



鈴木内川 仙北市吉田

県管理河川 水系別 簡易型監視カメラ設置数

単位: 基

水系	カメラ設置 河川	簡易型監視カメラ			計
		平成31年 4月迄設置	令和元年度		
			当初設置	補正設置	
雄物川	21	20	4	4	28
米代川	14	13	1	2	16
子吉川	4	3	2	2	7
馬場目川	3	2	1	1	4
白雪川	1	0	1	0	1
	43	38	9	9	56

※ R 1 当初設置 9 基は設置完了
R 1 補正設置 9 基は R 2 設置完了予定

秋田県河川砂防情報システム

雨量観測情報

地域別詳細情報

水位観測情報

河川カメラ

警報・注意報概況

秋田県河川砂防情報システム

河川カメラ一覧 2020年05月11日13時35分 現在

カメラ画像をクリックすると河川カメラ履歴を表示します。

草生津川 寺内(秋田市)	旭川 中島(秋田市)	岩見川 坂本(秋田市)	新渡川 新渡(秋田市)
日時 05/11 13:30 水位 → 0.60[m] 警報状態 通常	日時 05/11 13:30 水位 → 0.73[m] 警報状態 通常	日時 05/11 13:30 水位 → 0.48[m] 警報状態 通常	日時 05/11 13:30 水位 → 0.17[m] 警報状態 通常
馬場目川 中屋敷橋(五城目町)	馬路川 金足堀内(秋田市)	新城川 笠岡(秋田市)	猿田川 御茶屋橋(秋田市)
日時 05/11 13:35 水位 ↑ -2.76[m] 警報状態 観測開始水位超過	日時 05/11 13:30 水位 → -0.27[m] 警報状態 通常	日時 05/11 13:30 水位 ↑ 0.30[m] 警報状態 通常	日時 水位 警報状態

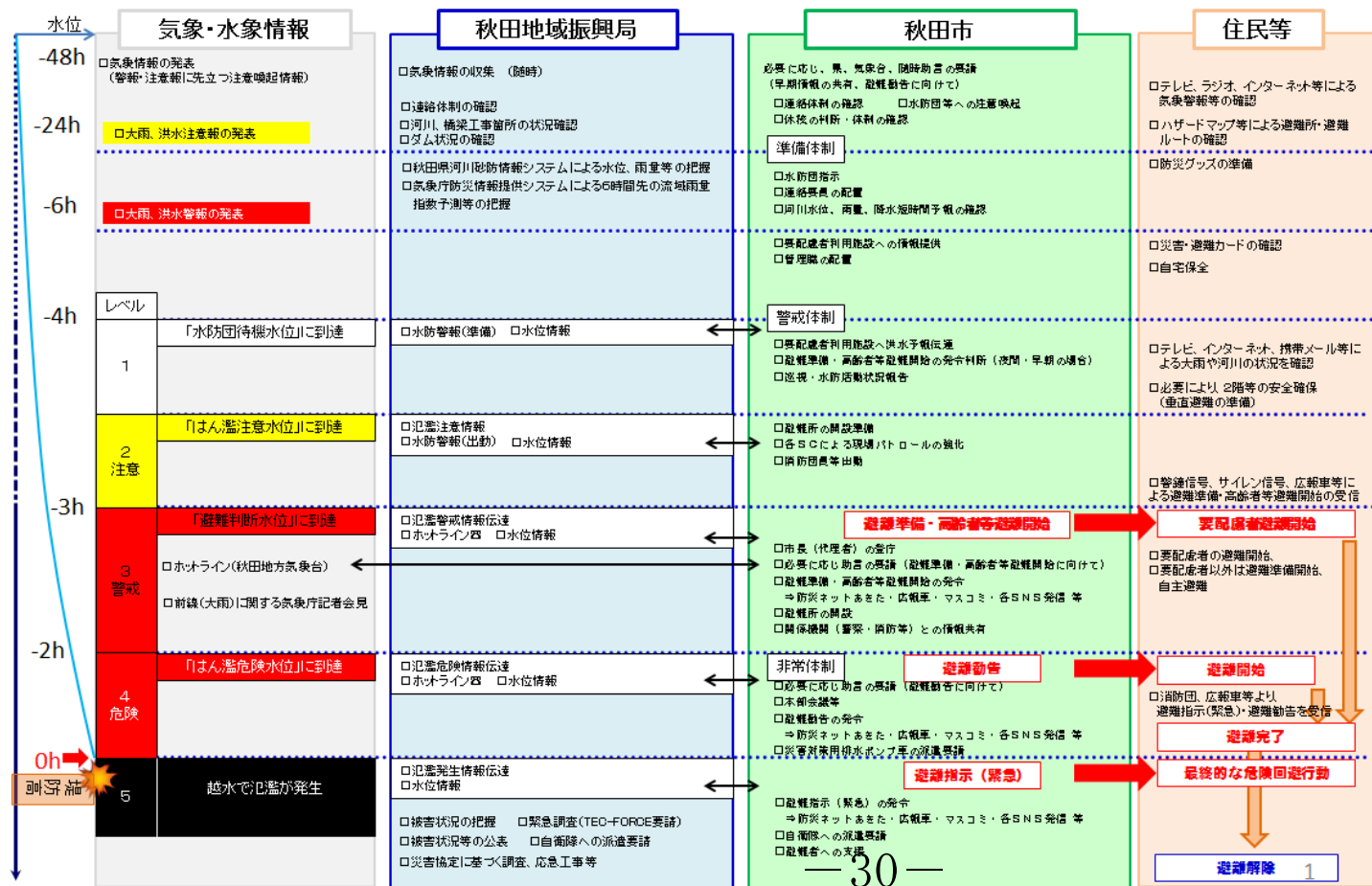
■ソフト対策【動かす】 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速な情報発信と避難の誘導

○発災時の迅速かつ確実な避難に関する取組（継続実施）・住民の避難行動に着目した各市町のタイムラインの運用

⇒ 平成29年度末の第2回減災対策協議会以降、県内各市町村において運用を開始し、令和元年度も継続実施。

沿川市町村の避難勧告の発令等に着目した タイムライン(防災行動計画)

※避難勧告等に関するガイドライン(内閣府:平成29年1月)、タイムライン(防災行動計画)策定・活用指針(国土交通省:平成28年8月)を参考に作成。
※豪雨に対応したものである。時間と対応項目は「想定」で記載。状況変化に応じた臨機の行動が必要。



■ソフト対策【動かす】 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速な情報発信と避難の誘導

○発災時の迅速かつ確実な避難に関する取組（継続実施）

- ・気象情報発信時の「危険度の色分け」や「警報級の現象」等の改善（水害時の情報入手のし易さをサポート）
- ⇒ **警戒レベルの導入**による、水位周知河川（県管理河川）における水位到達情報の運用

2019/12/14 11:26 suibo-fax@mail2.pref.akita.jp

MAIL>FAX 01P/END

01笠岡-05新城川-04秋田

第2報 新城川 氾濫警戒情報

2019年12月14日
11時 20分 発表
秋田県 秋田地域振興局

【主 文】

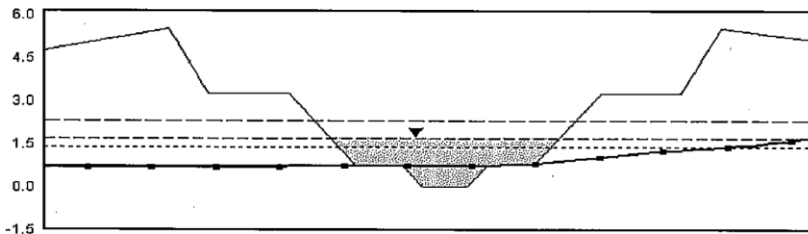
【警戒レベル3相当情報[洪水]】新城川は、11時20分に秋田市下新城笠岡の笠岡（指定）観測所で、避難準備情報等の発令の目安となる避難判断水位1.70mに達しました。

笠岡（指定）観測所では、10時20分～11時20分の1時間に、約0.28m水位が上昇し、避難判断水位に達しました。
また、笠岡（指定）観測所の受け持ち区間（秋田市上新城中字堂ノ前～旧雄物川合流点）では氾濫するおそれがあります。
市町村長が発する避難情報に十分注意するとともに、適切な防災行動をとって下さい。

（参考）新城川 笠岡（指定）観測所（秋田市下新城笠岡）
（受け待ち区間は、秋田市上新城中字堂ノ前～旧雄物川合流点）

氾濫危険水位 2.30m
（洪水特別警報水位）
避難判断水位 1.70m
氾濫注意水位 1.40m

-----	氾濫危険水位
-----	避難判断水位
-----	氾濫注意水位
-----	観測水位
▼	最新水位高



月/日	12/14											最新
時:分	01:00	02:00	03:00	04:00	05:00	06:00	07:00	08:00	09:00	10:00	11:00	11:20
水位	0.69	0.70	0.71	0.73	0.73	0.74	0.80	1.03	1.23	1.38	1.62	1.73
受信機関												
電話番号												
FAX番号												

平成31年3月29日付け国事務連絡を受け、水位周知河川における水位情報の発表にあたり、「警戒レベル」を付すこととなった。



令和元年度に河川砂防情報システム改修を実施し、左の資料のように運用している。

※水位周知河川（水防法第13条）

洪水により相当な損害を生ずるおそれがある河川のこと。洪水特別警戒水位を定め、河川の水位がこれに達したときは、その旨を水防管理者に通知している。

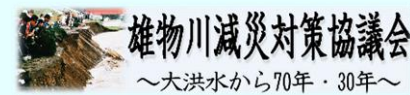
〔参考〕発表区分と水位危険度レベルの関係

発表区分	発表対象河川	水位危険度レベル					
		レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	レベル5	
		水防団待機水位	氾濫注意水位	避難判断水位	氾濫危険水位	氾濫発生	解除
洪水予報	洪水予報河川	-	○	○	○	○	-
水位到達情報	水位周知河川	-	○	○	○	○	-
水防警報	洪水予報河川、 水位周知河川	○	○	-	-	-	○

[-] = 発表対象外

[○] = 発表対象

R元年度の取組結果 (秋田県)



■ソフト対策【動かす】 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速な情報発信と避難の誘導

○発災時の迅速かつ確実な避難に関する取組 (継続実施)

- 想定最大規模降雨による浸水想定区域図、氾濫シミュレーション、家屋倒壊等氾濫想定区域の公表
- ⇒ 平成27年の水防法の改正に伴い、これまでの洪水浸水想定区域を見直し、秋田県美の国ネットにてデータを公表しています。 <https://www.pref.akita.lg.jp/pages/archive/10574>

令和元年度の取組：18市町村 浸水想定図作成：31河川 告示：21河川

令和元年度末現在 最大規模浸水想定図作成進捗状況

NO	河川名	管内	市町村	浸没図作成	告示 (R1)	告示 (R2以降)	HM作成	備考
1	米代川	鹿角	鹿角市	○	R1. 12. 24		R3	
1	米代川	北秋田	大館市				R1	
2	小坂川	鹿角	鹿角市	○		R2. 4. 28	R3	
2	小坂川	鹿角	小坂町				R2	
3	大湯川	鹿角	鹿角市	○		R2. 4. 28	R3	
4	福土川	鹿角	鹿角市	○	R2. 2. 10		R3	
5	下内川	北秋田	大館市	○	R1. 7. 23		R1	
6	長木川	北秋田	大館市	○	R1. 7. 23		R1	
7	瀬子川	北秋田	北秋田市	○	R1. 7. 12		R3	
8	小猿部川	北秋田	北秋田市	○	R1. 7. 12		R3	
9	阿仁川	北秋田	北秋田市				R3	
9	阿仁川	山本	能代市	○	R2. 1. 31		R2	市HP掲載
10	小阿仁川	北秋田	北秋田市	○	R2. 1. 31		R3	
10	小阿仁川	北秋田	小阿仁村				R3	
11	藤琴川	山本	藤里町				R1	
11	藤琴川	山本	能代市	○	R1. 9. 2		R2	市HP掲載
12	三種川	山本	三種町	○	H31. 3. 22		R1	
13	太平川	秋田	秋田市	○	R1. 8. 6		R3	
14	岩見川	秋田	秋田市	○		R2. 5	R3	
15	旭川	秋田	秋田市	○	R1. 8. 6		R3	
16	葦生津川	秋田	秋田市	○		R2. 5	R3	
17	猿田川	秋田	秋田市	○		R2. 5	R3	
18	新城川	秋田	秋田市	○	R1. 8. 6		R3	
19	馬場目川	秋田	五城目町				R2	
19	馬場目川	秋田	八郎潟町	○		R2. 5	R3	
19	馬場目川	秋田	井川町				未定	
20	芋川	由利	由利本荘市	○	R1. 9. 13		R2	
21	川口川	仙北	大仙市	○	R1. 8. 9		R3	
22	窪澤川	仙北	大仙市	○	R1. 8. 9		R3	
23	矢島川	仙北	大仙市	○	R1. 8. 9		R3	
23	矢島川	仙北	美郷町	○	R1. 8. 9		R3	
24	丸子川	仙北	大仙市	○	R1. 8. 9		R3	
24	丸子川	仙北	美郷町	○	R1. 8. 9		R3	
25	絵木内川	仙北	仙北市	○		R2. 5	R2	
26	福部内川	仙北	大仙市	○	R1. 8. 9		R3	
26	福部内川	仙北	美郷町	○	R1. 8. 9		R3	
27	玉川	仙北	大仙市	○		R2. 5	R3	
27	玉川	仙北	仙北市	○		R2. 5	R2	
28	齊内川	仙北	大仙市	○		R2. 5	R3	
29	横手川	平鹿	横手市				R2	
29	横手川	平鹿	大仙市	○	R1. 11. 29		R2	
29	横手川	平鹿	美郷町				R3	
30	役内川	雄勝	湯沢市	○	R1. 9. 27		R1	
30	役内川	雄勝	18市町村	30	21	9		

水位周知河川新規追加予定

NO	河川名	管内	市町村	浸没図作成	告示 (R1)	告示 (R2以降)	HM作成	備考
31	熊沢川	鹿角	鹿角市	○		R2. 5	未定	
32	犀川	北秋田	大館市	R2		R3(予定)	未定	
33	檜山川	山本	能代市	R3(予定)		R4(予定)	未定	
34	新波川	秋田	秋田市	R4(予定)		R5(予定)	未定	
35	馬踏川	秋田	秋田市	R4(予定)		R5(予定)	未定	
36	白雪川	由利	にかほ市	R2		R3(予定)	未定	
37	大沢川	仙北	大仙市	R5(予定)		R6(予定)	未定	
38	八見内川	仙北	仙北市	R2		R3(予定)	未定	
39	上溝川	平鹿	横手市	R4(予定)		R5(予定)	未定	
40	雄物川(予定)	雄勝	湯沢市	R3(予定)		R4(予定)	未定	

河川名	図面名	指定・公表年月日	関係市町村
旭川	洪水浸水想定区域図(想定最大規模) [PDF/6009KB]	令和元年8月6日	秋田市
	洪水浸水想定区域図(浸水継続時間) [PDF/6080KB]		
	家屋倒壊等氾濫想定区域図(氾濫浸食) [PDF/6079KB]		
	家屋倒壊等氾濫想定区域図(河岸浸食) [PDF/6078KB]		
太平川	洪水浸水想定区域図(計画規模) [PDF/5811KB]	令和元年8月6日	秋田市
	洪水浸水想定区域図(想定最大規模) [PDF/6032KB]		
	洪水浸水想定区域図(浸水継続時間) [PDF/6066KB]		
	家屋倒壊等氾濫想定区域図(氾濫浸食) [PDF/6090KB]		

■ソフト対策【ねばる】 ②氾濫被害の防止や軽減、避難時間の確保のための情報共有と水防活動の強化

○より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化に関する取組(継続実施)

- ・重要水防箇所合同巡視 ⇨ 洪水時に危険が予想され、重点的な巡視点検が必要な箇所を関係機関と実施しました。



玉川 (仙北市田沢湖)



役内川 (湯沢市雄勝)



小滝川 (大仙市中仙)



西馬音内川 (羽後町)

■ソフト対策【ねばる】 ②氾濫被害の防止や軽減、避難時間の確保のための情報共有と水防活動の強化

○より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化に関する取組（継続実施）

- ・水防資機材の保有状況の確認 ⇨ 事前に水防資機材の点検・準備を整え、直ちに水防活動を実施できる体制を確保する。



■ソフト対策【ねばる】 ②氾濫被害の防止や軽減、避難時間の確保のための情報共有と水防活動の強化

○排水活動及び訓練、施設運用に関する取組 (継続実施)

・関係機関と連携したリアリティのある水防・排水訓練の実施

⇒ 梅雨前線による集中豪雨や秋の台風シーズンを控え、排水ポンプ車の操作に習熟するための訓練を合同実施。



■ハード対策（避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備）

⇒取組対象外

■ソフト対策【動かす】 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速な情報発信と避難の誘導

○平時からのリスク情報の周知と防災教育・訓練等に関する取組

- ・タイムラインを活用したロールプレイング等のリアリティのある防災訓練の実施
- ・タイムラインの検証及び改訂
- ・多機関連携型タイムラインの充実

⇒秋田県と連携し地方公共団体防災担当者向け「気象防災ワークショップ」を開催。

各自治体で防災対応の疑似体験していただいた。

- ・2019年6月28日 秋田県庁にて13市町5地域振興局25名が参加。（土砂災害編）
- ・2019年11月28日 秋田県庁にて6市村8名が参加。（風水害編）
- ・2020年2月14日 潟上市役所で実施。12名が参加。（風水害編）

- ・水害リスクを共有するための教育機関等と連携した防災教育の実施

⇒秋田県教育委員会が計画する「学校安全外部指導者派遣事業」に協力し、県内の幼稚園、保育園から高校までの教育施設において、自然災害に関する出前講座を12の教育施設で実施。

- ・要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練の促進

⇒北秋田市、横手市が主催した要配慮者利用施設の避難確保計画作成に係る講習会に出席し、利用施設の防災力向上に向けて「段階的に発表する防災気象情報の活用」について講演を行った。

■ソフト対策【動かす】

①逃げ遅れゼロに向けた
迅速な情報発信と避難の誘導

○発災時の迅速かつ確実な避難に関する取組

- ・気象情報発信時の「危険度の色分け」や「警報級の現象」等の改善（水害時の情報入手のし易さをサポート）
- ⇒防災気象情報に関しては、出前講座等で機会あるごとに解説を行い利活用促進に努めている。また、大雨(浸水)、洪水の注意報、警報基準がより適切な判定結果となるように最新の災害データを基に見直しを行った。

■ソフト対策【ねばる】

②氾濫被害の防止や軽減、
避難時間の確保のための情報共有と水防活動の強化

○より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化に関する取組

- ・流域内の関係機関が防災情報を共有できる体制の整備
- ⇒県内各市町村を訪問し防災担当者と情報交換を行うと共に、災害発生時は、後日防災担当者と対応についての振り返りを行っている。
- ・重要水防箇所の合同巡視
- ⇒日程等が合わず不参加。



気象防災ワークショップ



学校安全外部指導者派遣事業



要配慮者利用施設の避難確保計画

■ハード対策（避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備）

⇒取組対象外

■ソフト対策【動かす】^{①逃げ遅れゼロに向けた迅速な情報発信と避難の誘導}

○平時からのリスク情報の周知と防災教育・訓練等に関する取組

- ・タイムラインを活用したロールプレイング等のリアリティのある防災訓練の実施
- ・タイムラインの検証及び改訂
- ・多機関連携型タイムラインの充実

⇒本年度も各機関で防災訓練等の実施の際は是非参加・協力させて頂きたい。

地方公共団体防災担当者向け「気象防災ワークショップ」を開催を予定（時期未定）

- ・水害リスクを共有するための教育機関等と連携した防災教育の実施

⇒本年度も秋田県教育委員会が計画する「学校安全外部指導者派遣事業」に協力し、出前講座を実施予定。（時期未定）

- ・要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練の促進

⇒本年度も自治体から依頼があれば引き続き協力していく。

○発災時の迅速かつ確実な避難に関する取組

- ・気象情報発信時の「危険度の色分け」や「警報級の現象」等の改善（水害時の情報入手のし易さをサポート）

⇒本年度も防災気象情報は機会あるごとに解説を行い活用促進に努める。また、大雨(浸水)、洪水の注意報、警報の発表基準はより適切な判定結果となるように最新の災害データを基に見直しを行う。

■ソフト対策【ねばる】

②氾濫被害の防止や軽減、
避難時間の確保のための情報共有と水防活動の強化

○より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化に関する取組

- ・流域内の関係機関が防災情報を共有できる体制の整備
 - ⇒本年度も早い時期に県内市町村の防災担当者を訪問予定。
- ・重要水防箇所の合同巡視
 - ⇒日程等、都合がつけば参加をさせて頂きたい。

■ハード対策 ■洪水氾濫を未然に防ぐ対策 ■避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備

○堤防整備

⇒ 秋田市戸賀沢地区、大仙市強首地区、大仙市寺館・大巻地区、大仙市間倉地区

○河道掘削

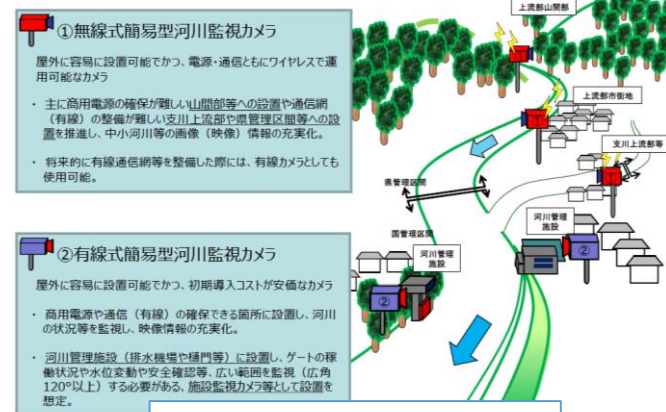
⇒ 秋田市小山地区、大仙市大仙地区、湯沢市酒蒔地区、湯沢市睦合地区

○ダム建設の推進

⇒ 成瀬ダム【継続】

○簡易水位計等の基盤整備

⇒ 洪水に対してのリスクが高い区間に簡易型河川監視カメラ設置（全41基予定）【継続】



簡易型河川監視カメライメージ

■ソフト対策【動かす】 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速な情報発信と避難の誘導

○平時からのリスク情報の周知と防災教育・訓練等に関する取組

・タイムラインを活用したロールプレイング等のリアリティのある防災訓練の実施

⇒ ロールプレイング形式の危機管理演習を実施（関係機関共同実施）

・水害リスクを共有するための教育機関等と連携した防災教育の実施

⇒ 流域市町村全校において、防災教育資料の試行を展開（関係機関共同実施）

・要配慮者利用施設の管理者への説明会の実施

⇒ 横手市主催の要配慮者利用施設の避難確保計画作成に係る講習会の開催を支援

○発災時の迅速かつ確実な避難に関する取組

・住民の避難行動に着目した各市町のタイムラインの運用及びマイタイムラインの作成

⇒ 平成29年7月・8月洪水、H30.5洪水及び危機管理演習結果等を踏まえた

タイムラインの検証・見直し（関係機関共同実施）

⇒横手市主催の地域住民を対象とした「マイ・タイムライン講習会」開催を支援



R元危機管理演習実施状況（左：大仙市、右：湯沢河川国道）

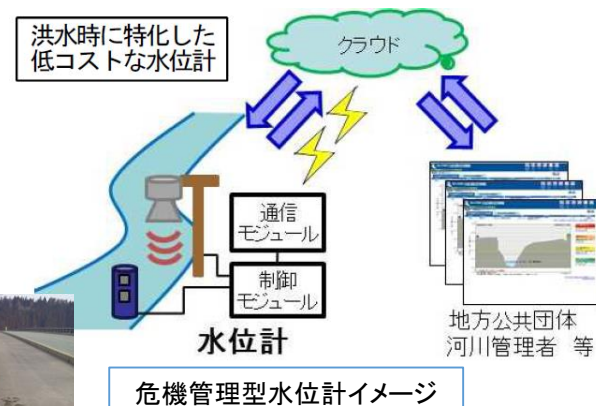


マイタイムライン講習会の開催状況

■ソフト対策【動かす】 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速な情報発信と避難の誘導

○発災時の迅速かつ確実な避難に関する取組

- ・想定最大規模降雨による浸水想定区域図、氾濫シミュレーション、家屋倒壊等氾濫想定区域の公表
⇒ハザードマップ作成に必要な電子データを提供支援【継続】
- ・住民の主体的避難を促す情報伝達手段の拡充（防災メール、防災ラジオ、SNS等）
⇒プッシュ型メールによる住民への情報提供及び周知広報を実施【継続】
⇒危機管理型水位計の運用開始（全21基）
⇒水害リスクラインに基づく水位予測等の公表【新規】



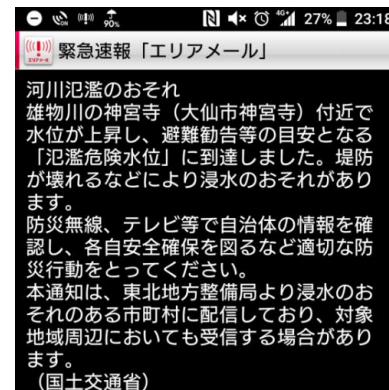
■ソフト対策【ねばる】 ②氾濫被害の防止や軽減、避難時間の確保のための情報共有と水防活動の強化

○より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化に関する取組

- ・流域内の関係機関が防災情報を共有できる体制の整備
⇒秋田県 情報集約配信システムによる情報共有【継続実施】
- ・重要水防箇所の合同巡視
⇒関係機関（水防団、各市町、秋田県、東北地方整備局）合同による重要水防箇所点検【継続実施】
- ・関係機関が連携した水防訓練・水防団同士の連絡体制の再確認の実施

○既存ダムを最大限活用した防災体制の強化に関する取組

- ・既存ダムが柔軟な対応ができるように、予測も含めたより広域的な下流域の情報を共有できる体制を整備。
⇒ダムからの放流等の通知及び情報提供様式について分かりやすい表現に適宜見直し。
⇒ダムの異常洪水時防災操作時の通知及び情報提供について見直し。
⇒ダム下流浸水想定図の作成。
⇒ダム事前放流実施要領（案）の検討



H30.5.18配信されたプッシュ型メール（大仙市神宮寺地区）



R元重要水防箇所の合同点検（横手市）

■ソフト対策【戻す】

③日常生活および社会経済活動の一刻も早い回復を
可能とする排水活動

○排水活動及び訓練、施設運用に関する取組

- ・関係機関と連携したリアリティのある水防・排水訓練の実施
⇒排水ポンプ車操作訓練を6月11日実施【秋田河国】
- ・排水施設等の情報共有、浸水区域内の自然勾配を踏まえた排水の検討を行い、大規模水害を想定した氾濫時の緊急排水計画（案）を作成
⇒長期にわたり浸水が継続する地域において、地域社会をいち早く復旧させるための排水計画（案）を作成・公表【継続実施】

■ハード対策

- 洪水氾濫を未然に防ぐ対策
- 避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備

○堤防整備

⇒ 秋田市新波地区、秋田市左手子地区、秋田市戸草沢地区、秋田市銅屋地区、大仙市福部羅地区、大仙市強首地区、大仙市寺館・大巻地区、大仙市中村・芦沢地区【継続】

○河道掘削

⇒ 秋田市小山地区、秋田市左手子地区、大仙市大仙地区、湯沢市酒時地区【継続】

○ダム建設の推進

⇒ 成瀬ダム【継続】

○簡易水位計等の基盤整備

⇒ 洪水に対するリスクが高い区間に簡易型河川監視カメラ設置（全41基予定）【継続】



簡易型河川監視カメラ設置状況

■ソフト対策【動かす】

①逃げ遅れゼロに向けた迅速な情報発信と避難の誘導

○平時からのリスク情報の周知と防災教育・訓練等に関する取組

- ・タイムラインを活用したロールプレイング等のリアリティのある防災訓練の実施
 - ⇒ ロールプレイング形式の危機管理演習を開催予定（秋田市及び関係機関）【継続】
- ・水害リスクを共有するための教育機関等と連携した防災教育の実施
 - ⇒ 流域市町村全校において、防災教育資料の試行を展開（関係機関共同実施）【継続】

○発災時の迅速かつ確実な避難に関する取組

- ・住民の避難行動に着目した各市町のタイムラインの運用
 - ⇒ 平成29年7月・8月洪水、H30.5洪水及び危機管理演習結果等を踏まえたタイムラインの検証・見直し（関係機関共同実施）【継続】



H30危機管理演習実施状況（左：湯沢市、右：湯沢河川国道）



タイムラインの見直しイメージ

■ソフト対策【動かす】 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速な情報発信と避難の誘導

○発災時の迅速かつ確実な避難に関する取組

- ・想定最大規模降雨による浸水想定区域図、氾濫シミュレーション、家屋倒壊等氾濫想定区域の公表
⇒ハザードマップ作成に必要な電子データを提供支援【継続】
- ・住民の主体的避難を促す情報伝達手段の拡充（防災メール、防災ラジオ、SNS等）
⇒プッシュ型メールによる住民への情報提供及び周知広報を実施【継続】
- ⇒河川監視カメラの運用開始（全41基）【新規】



河川監視カメラの表示イメージ

■ソフト対策【ねばる】 ②氾濫被害の防止や軽減、避難時間の確保のための情報共有と水防活動の強化

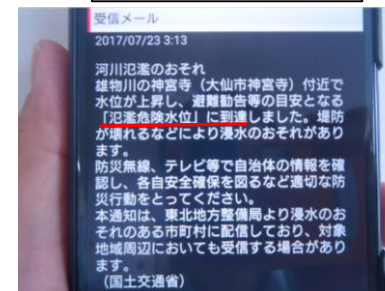
○より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化に関する取組

- ・流域内の関係機関が防災情報を共有できる体制の整備
⇒秋田県 情報集約配信システムによる情報共有【継続】
- ・重要水防箇所の合同巡視
⇒関係機関（水防団、各市町、秋田県、東北地方整備局）合同による重要水防箇所点検【継続】
- ・関係機関が連携した水防訓練・水防団同士の連絡体制の再確認の実施

○既存ダムを最大限活用した防災体制の強化に関する取組

- ・既存ダムが柔軟な対応ができるように、予測も含めたより広域的な下流域の情報を共有できる体制を整備。
⇒ダム事前放流実施要領策定

（第1報）氾濫危険水位到達



H29.7配信されたプッシュ型メール（大仙市神宮寺地区）



R元重要水防箇所の合同点検（秋田市）

■ソフト対策【戻す】

③日常生活および社会経済活動の一刻も早い回復を
可能とする排水活動

○排水活動及び訓練、施設運用に関する取組

- ・関係機関と連携したリアリティのある水防・排水訓練の実施
- ・排水施設等の情報共有、浸水区域内の自然勾配を踏まえた排水の検討を行い、大規模水害を想定した氾濫時の緊急排水計画（案）を作成
⇒ 長期にわたり浸水が継続する地域において、地域社会をいち早く復旧させるための排水計画（案）を作成・公表（予定）【継続】